

前期基本計画 平成27年度 基本施策方針評価書

政 策 : 02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策 : 06 笑顔輝く健康づくりへの支援

主管課長職・氏名	健康推進課長 熊谷多美子
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の平成27年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	市民が幸せを感じながら笑顔で暮らすためには、心身の健康は大切な条件の一つです。また、病気や障がいがあってもその人の考える健康の実現は幸せにつながります。市民一人一人が「健康」に関心を持って、主体的な健康づくりに取り組めるような環境を目指します。	
--	--	--

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 自分が心身ともに元気と感じる人の割合 単位 %	57.1	58	58.6	59.4	60	60.5	D	
			57	-	-	-	-	△2.9	
2	幸福 健康づくりに取り組んでいる人の割合 単位 %	59	60	61	63	65	66	D	
			58.2	-	-	-	-	△11.4	
	単位								

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 02060100 望ましい生活習慣の定着 自分が心身ともに元気と感じる人の割合 単位 %	57.1	58	58.6	59.4	60	60.5	D	
			57	-	-	-	-	△2.9	
2	幸福 02060100 望ましい生活習慣の定着 健康づくりに取り組んでいる人の割合 単位 %	59	60	61	63	65	66	D	
			58.2	-	-	-	-	△11.4	
3	暮らし 02060200 みんなで進める健康づくり 健康づくり支援者が企画した健康教室の開催回数 単位 回	87	87	88	89	90	91	D	
			86	-	-	-	-	△25.0	
4	幸福 02060200 みんなで進める健康づくり 健康づくりに取り組んでいる人の割合 単位 %	59	60	61	63	65	66	D	
			58.2	-	-	-	-	△11.4	
5	暮らし 02060300 安心し子どもを産み育てるための支援 子育ての悩みや不安を相談できる人がいる(いた)人の割合 単位 %	56.2	59	60	61	62	63	A	
			58.1	-	-	-	-	27.9	

前期基本計画 平成27年度 基本施策方針評価書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策：06 笑顔輝く健康づくりへの支援

主管課長職・氏名	健康推進課長 熊谷多美子
関係課長職・氏名	

2. 基本施策の実現に向けての平成27年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>市民一人一人が「健康」に関心を持って主体的な健康づくりに取り組めるよう、各種検診の実施や健康づくりに関する情報提供を行いました。また、地域で健康づくりに取り組む機会として地域健康づくり連絡会を各自治会で開催し、健康情報の提供や具体策について話し合いました。また、健康づくり支援者の養成やスキルアップに努めました。今年度より、経済的負担軽減のため特定不妊治療の助成を開始し、また難病特定医療費申請を開始し、対象者の利便性向上に努めました。妊娠から出産子育ての場面で必要な支援が必要な方に届くよう、家庭訪問や乳幼児健診等を実施し、早期発見と対応に係る取り組みを関係機関と連携し行いました。また、愛着形成に係る子育て心理学を活用し、育児不安や育児困難の予防に取り組みました。「健康づくりに取り組んでいる人の割合」は、58.2%と目標の60%にはまだ届いていません。</p>	

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、平成27年度の重点課題の達成（実現）状況

A	達成した
<p>【重点課題】受診しやすい検診・健康づくりに関わる市民の増員と資質の向上・地域との連携を強化した健康づくりの推進・妊娠出産への支援の充実・乳児全戸訪問事業の継続とフォロー体制強化・育児支援事業の充実</p> <p>【重点課題の達成状況】検診を受診しやすくするため、検診会場を新設したことで、受診者・率とも向上し、目標値を上回りました。また運動普及推進員の養成と各健康づくり支援者の育成・合同研修会の開催により資質の向上に努めました。不妊治療の経済的負担軽減のため、特定不妊治療助成事業を開始しました。乳児訪問や乳幼児健診等を通して乳児や育児の状況等を把握し早期から必要な方へ対応を行い、虐待や発育発達に課題のある児への対応等、育児支援を行いました。</p>	

3. 基本施策の実現に向けての平成27年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<p>【成人】 自家用車での移動などによる運動不足や、食習慣の変化等により生活習慣病が促進されています。超高齢社会を見据え、若年・壮年期からの健康づくりが重要です。また、全国的に経済格差が健康格差につながっているという現状があります。</p> <p>【母子】 未婚や若年妊婦等、課題のある妊婦が増加傾向にあります。また、育児が世代間で伝承されにくく母子の愛着形成が十分でないまま親になり、育児が困難になり支援を必要とする事例が増加しています。また、全国的に児童虐待事例が報告されており、今後も乳児訪問・乳幼児健診や予防接種の状況等から、関係機関と連携し早期に適切な対応が必要です。</p>	

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>「誰もが幸福を実感できる地域」を目指す本市において、「心身の健康」を市民が幸福を実感するための事項として1番に挙げていることから、一人一人が積極的に健康づくりに取り組めるよう、住民協働による健康な地域づくりや環境づくりを更に推進していく必要があります。</p>	

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 平成29年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】 平成28年度は、地域保健計画「たきざわ健康プラン21」の中間評価、及び母子保健計画「すこやか親子たきざわ」の評価・策定の年にあたるため、両計画の策定・評価を通して基本方針に沿った評価を適切に行い、基本施策である「笑顔輝く健康づくりへの支援」の実現に向けて取り組んでいく必要があります。</p> <p>【引継課題】 平成30年度に施策展開として予定されている「健康づくりに関する宣言」に向け、市民の健康づくりにかかる意識の醸成や体制構築を行っていく必要があります。</p>	

